

【発行元】

株式会社豊工務店
〒862-0914
熊本県熊本市東区山ノ内1-3-1
TEL : 096-365-6503
FAX : 096-367-3332

今から始める！真夏に向けた早めの暑さ対策

――施工期間を見据えた「早期着手」が現場を救う

工場・倉庫の熱中症対策は、夏本番に動き出しても施工が間に合いません。4月から準備を始めることで、電力コストを抑えつつ、従業員の安全を確実に守る「遮熱・排熱」のインフラを構築できます。



1. 「熱を入れない」ための建物外皮対策

最も効率的なのは、空調で冷やす前に「熱の侵入を遮断する」ことです。

①**屋根・外壁の遮熱塗装**：太陽光を反射する高機能塗料により、屋根面の温度上昇を大幅に抑制。室温を数度下げるだけでなく、空調の電力消費を20%前後削減する事例も珍しくありません。

②**屋根裏の断熱強化**：屋根から伝わる輻射熱は、作業者に直接的な不快感を与えます。断熱材の追加や遮熱シートの施工により、天井からの「熱のこもり」を根本から解めます。

2. 「熱を逃がす・風を作る」気流設計

広い空間を均一に冷やすのが難しい現場では、空気の流れをデザインすることが鍵となります。

①**HVLSファン（大型ファン）の導入**：大風量で低速回転するファンにより、建物全体の空気を循環させます。体感温度を3～5℃下げる効果があり、冷房効率を劇的に向上させます。

②**強制排煙・換気システムの最適化**：天井付近に溜まる熱気を効率よく逃がす排気ファンを設置。外気を取り込みながら熱を排出するサイクルを作ること、室内の温度上昇を抑制します。

3. 「人を守る」ためのクールゾーニング

広大な施設全体を均一に冷やすのは、コスト・効率面から現実的ではありません。そこで重要になるのが、人が留まる場所を集中的に環境改善する「クールゾーニング」という考え方です。

①**スポット冷却と休憩室の断熱**：作業エリアへの局所空調と並行し、完全に断熱・冷房された「避難場所（休憩室）」を設置。

オン・オフの切り替えを明確にし、重篤な熱中症リスクを回避します。

②**WBGT（暑さ指数）の見える化**：

建物自体を「見える化」することで、メンテナンスは「壊れてから直す」ものから「予測して防ぐ」に変わります。

これは、施設の資産価値を永続的に守るための有効な手段です。

まとめ：熱中症対策は、「現場の安全」と「経営の継続」への投資

酷暑が常態化する中、40℃を超える現場を放置することは、生産性低下や人材流出を招く大きな経営リスクです。

夏本番に動き出しては施工が間に合わないため、4月からの早期着手が欠かせません。「熱を入れない・逃がす・冷やす」という建築的アプローチを最適に組み合わせ、従業員が安心して働ける強靱な基盤を今から構築しましょう。

貴社の現場に最適な「暑さ診断」から、ぜひプロの知見をご活用ください。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「メガキューバー」

（お問合せ窓口：原口）

TEL：096-365-6503 FAX：096-367-3332

〒862-0914 熊本県熊本市東区山ノ内1丁目3番1号

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて096-367-3332迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで